

（仮称）若者計画の策定について

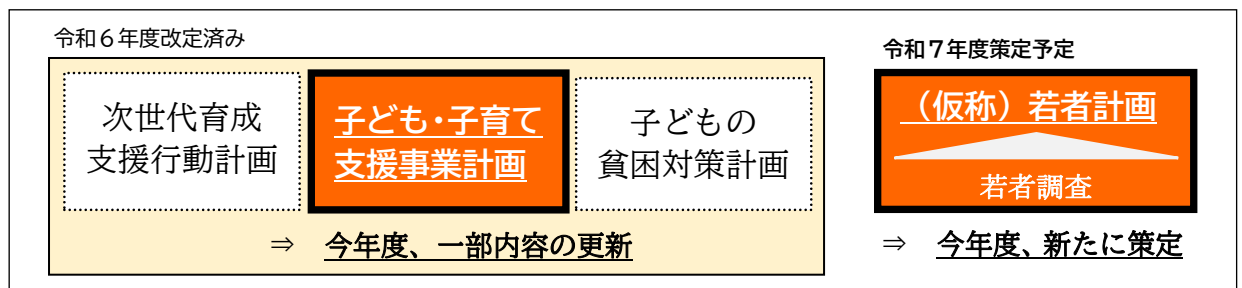
1 概要

子ども・若者を取り巻く社会環境は急速に変化しており、ひきこもりや若年無業者（ニート）、ヤングケアラー等、生きづらさを抱える子ども・若者の課題は複雑化・多様化しています。このような状況を踏まえ、令和6年度に実施した「若者の生活と意識に関する調査」（以下「若者調査」という。）の結果を基礎資料として、子ども・若者育成支援推進法第9条第2項に基づく、若者育成支援に係る計画（以下「（仮称）若者計画」という。）を策定し、若者施策の更なる推進を図ります。

2 計画の位置付け

（仮称）若者計画について、本区の地域福祉保健計画の分野別計画の一つである子育て支援計画に内包し、子育て支援計画を子どもから若者までの施策・事業に係る一体的な計画に位置付けます。

子育て支援計画



3 若者調査の結果

若者の生活と意識に関する現状を把握し、（仮称）若者計画の基礎資料を得ることを目的に実施した「若者調査」の結果は別紙のとおりです。

4 スケジュール（予定）

- 令和7年
- 5月 第1回地域福祉推進本部、第1回地域福祉推進協議会
議会報告（（仮称）若者計画の策定について）
 - 6月 （仮称）若者計画策定に係る若者ワークショップ（2回実施）
 - 7～8月 第2回、第3回子ども・子育て会議及び地域福祉推進協議会子ども・若者部会
第2回地域福祉推進本部、第2回地域福祉推進協議会
 - 9月 議会報告（検討状況について）
 - 10～11月 第4回子ども・子育て会議及び地域福祉推進協議会子ども・若者部会
第3回地域福祉推進本部、第3回地域福祉推進協議会

議会報告（中間のまとめについて）
12～1月 中間のまとめに係るパブリックコメント
令和8年1～2月 第5回子ども・子育て会議及び地域福祉推進協議会子
ども・若者部会、第4回地域福祉推進本部、第4回地
域福祉推進協議会
議会報告（最終案について）
3月 （仮称）若者計画策定

文 京 区
若者の生活と意識に関する調査報告書
概要版

令和7年4月



目 次

第1章 調査概要

1 調査の目的.....	1
2 調査の設計.....	1
3 回収状況.....	1
4 調査の内容.....	1
5 調査結果を見る上での注意事項.....	2

第2章 調査結果

1 自身・家庭の状況について.....	3
2 普段の生活について.....	9
3 家族の世話について.....	16
4 仕事について.....	18
5 社会とのつながりや文京区に関することについて.....	21
6 将来への希望感について.....	24
7 結婚・子育て・少子化対策について.....	25

第1章 調査概要

1 調査の目的

若者の生活や意識に係る現状を把握し、（仮称）若者計画の基礎資料を得ることを目的に、調査を実施しました。

2 調査の設計

- （1）調査対象者：区内在住の19歳から39歳までの者（基準日：令和7年1月1日）
- （2）調査方法：WEBアンケート（希望者には調査票を郵送）
- （3）調査期間：令和7年1月16日（木曜日）から令和7年2月19日（水曜日）まで

3 回収状況

- （1）配布数：70,672人（全数調査）
- （2）有効配布数：70,038人
- （3）有効回収数：14,064人
- （4）有効回収率：20.1%

4 調査の内容

- （1）自身・家庭の状況について
- （2）普段の生活について
- （3）家族の世話について
- （4）仕事について
- （5）社会とのつながりや文京区に関することについて
- （6）将来への希望感について
- （7）結婚・子育て・少子化対策について
- （8）若者施策等に関する意見について

5 調査結果を見る上での注意事項

- (1) 本文、表、グラフなどに使われる「n」は、各設問に対する回答者数です。
- (2) 年代別などのクロス集計は、無回答があるため合計が全体と一致しないことがあります。
- (3) 百分率(%)の計算は、小数第2位を四捨五入し、小数第1位まで表示しました。したがって、単数回答(1つだけ選ぶ設問)においても、四捨五入の影響で、%を足し合わせて100%にならない場合があります。
- (4) 複数回答(2つ以上選んでよい設問)においては、%の合計が100%を超える場合があります。
- (5) 表中の「-」は該当する回答がなかったことを示し、「0.0」は集計結果が四捨五入により小数第2位で0.1未満となったことを示しています。
- (6) 本文、表、グラフに引用されている調査票の文言は、表示の都合上、一部簡略化している場合があります。
- (7) 回答者数が30未満の場合、比率が上下しやすいため、傾向を見るにとどめ、本文中ではふれていない場合があります。
- (8) 統計数値を考察するにあたっては、傾向をまとめて表現する場合には、おおむね以下のとおりにしています。

例	表現
17.0～19.9%	約2割
20.0～20.9%	2割
21.0～22.9%	2割を超える
23.0～26.9%	2割台半ば

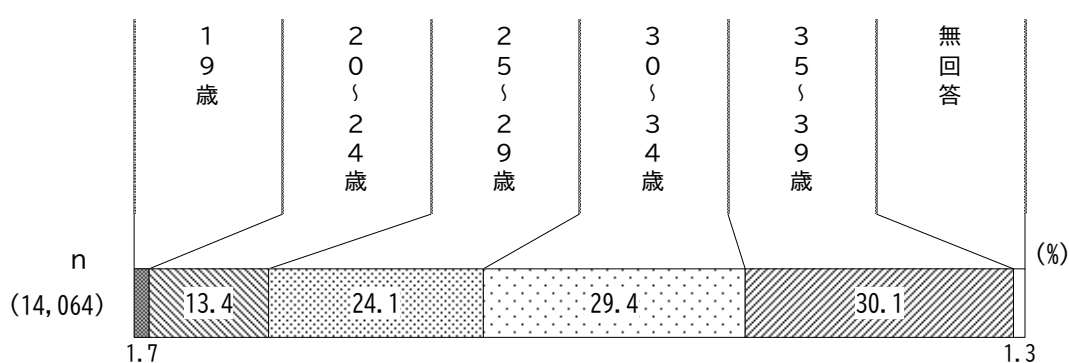
第2章 調査結果

1 自身・家庭の状況について

(1) 年齢

問2 令和7年1月1日時点のあなたの年齢をお答えください。

年齢は「35～39歳」が30.1%で最も高く、次いで「30～34歳」が29.4%、「25～29歳」が24.1%、「20～24歳」が13.4%となっており、年齢層が上がるにつれて高くなっています。



(2) 性別

問3 あなた自身が認識する性別をお選びください。(○は1つ)

性別は、全体でみると「女性」が57.0%、「男性」が40.5%となっています。それぞれの年齢層の回答を比較しても、傾向に差異は見られません。

		回答数 (n)	男性	女性	どちらとも言えない	わからない	答えたくない	無回答
単位：%								
全体		14,064	40.5	57.0	0.5	0.1	1.2	0.7
年齢層別	19歳	245	42.0	53.1	0.4	0.4	3.3	0.8
	20～24歳	1,879	42.8	54.1	1.1	0.1	1.8	0.1
	25～29歳	3,395	41.3	56.9	0.4	0.1	1.0	0.2
	30～34歳	4,130	40.0	58.5	0.4	0.1	0.7	0.3
	35～39歳	4,231	40.2	58.0	0.2	0.0	1.2	0.3

(3) 家族構成

問7※で、「2人以上」とお答えの方にうかがいます。

問7-1 あなたと一緒に住んでいる人について教えてください。あてはまる答えの番号すべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

※問7…あなたと一緒に住んでいる人は、あなたを含めて何人ですか。

家族構成は、全体でみると「配偶者・パートナー・交際相手」が72.5%で最も高く、次いで「子ども」が39.4%、「母親」が24.2%、「父親」が20.0%、「兄弟姉妹」が13.4%となっています。

年齢層別でみると、「配偶者・パートナー・交際相手」は30歳代で8割台と高くなっており、「子ども」は35～39歳で約7割と高くなっています。

		回答数 (n)	配偶者・ パートナー・ 交際相手	子 ども	父 親	母 親	祖 父	祖 母	兄 弟 姉 妹	その他の親戚など	友人・知人	無回答
単位：%												
全体		9,460	72.5	39.4	20.0	24.2	0.9	2.1	13.4	0.8	1.3	0.3
年齢層別	19歳	193	0.5	—	84.5	90.7	4.7	10.4	67.9	1.6	3.1	—
	20～24歳	1,043	8.8	0.9	70.2	83.0	4.6	9.1	53.8	1.5	3.7	0.2
	25～29歳	1,905	66.1	8.7	24.3	29.0	0.9	2.2	15.6	0.7	2.0	0.3
	30～34歳	2,916	85.3	41.0	9.9	13.0	0.2	0.7	5.3	0.7	0.7	0.3
	35～39歳	3,357	89.0	69.6	7.0	9.3	0.1	0.6	3.5	0.7	0.5	0.1

(4) 世帯収入

問8 あなたの家庭の家計(年間の収入)について、あてはまる答えの番号1つに○をつけてください。ここでの「家庭」とは、住民票上の世帯ではなく、実際に日常生活を共にしている人を指します。(○は1つ)

世帯収入は、全体でみると「1,000～1,500 万円未満」が 20.5%と最も高くなっています。次いで「700～1,000 万円未満」が14.8%、「500～700 万円未満」が12.7%、「1,500～2,000 万円未満」が11.4%、「300～500 万円未満」が11.2%となっています。

年齢層別でみると、「1,000～1,500 万円未満」は 30 歳代で2割台半ばと高くなっています。一方、「100 万円未満」は 20～24 歳で約2割と最も高く、19 歳でも1割台半ばとなっています。

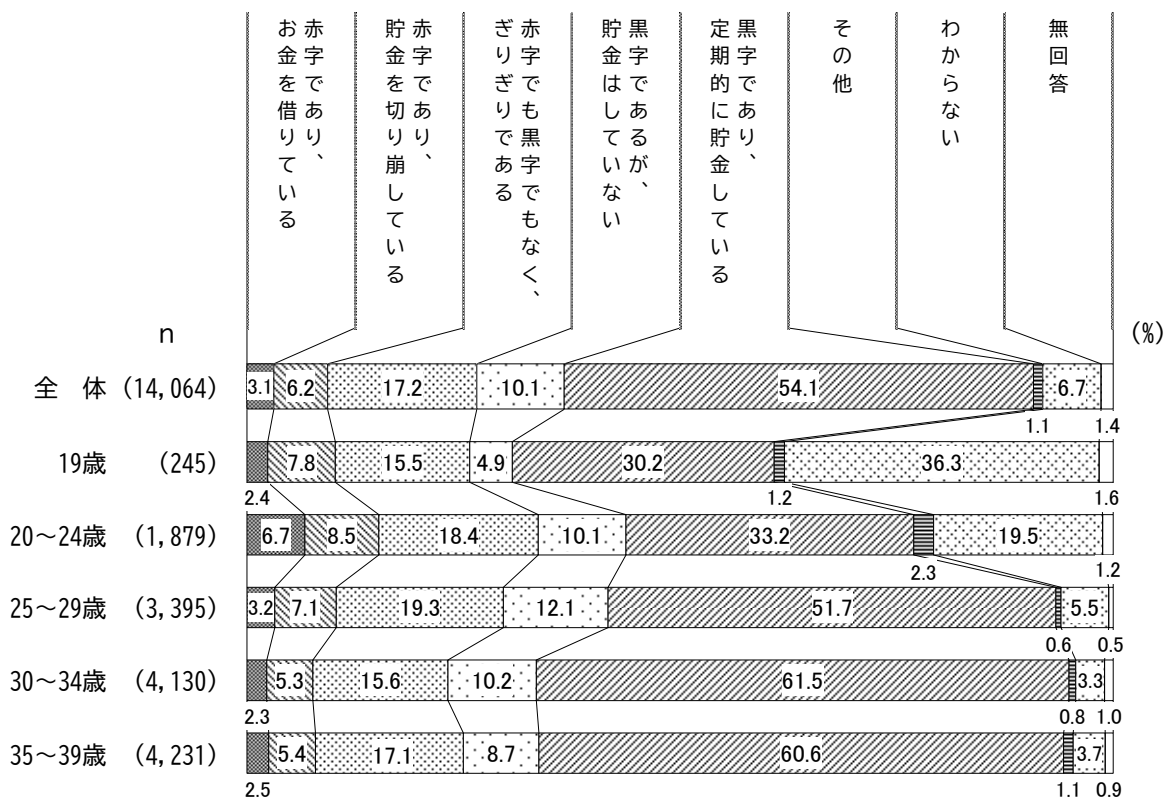
		回答数 (n)	1 0 0 万 円 未 満	1 0 0 ～ 3 0 0 万 円 未 満	3 0 0 ～ 5 0 0 万 円 未 満	5 0 0 ～ 7 0 0 万 円 未 満	7 0 0 ～ 1 、 0 0 0 万 円 未 満	1、 0 0 0 ～ 1、 5 0 0 万 円 未 満	1、 5 0 0 ～ 2、 0 0 0 万 円 未 満	2、 0 0 0 万 円 以 上	わ か ら な い	無 回 答
単位：%												
全体		14,064	4.2	5.5	11.2	12.7	14.8	20.5	11.4	9.3	8.6	1.9
年齢層別	19歳	245	14.7	5.7	5.3	3.3	4.9	7.8	5.3	9.4	41.6	2.0
	20～24歳	1,879	18.6	12.3	12.8	6.5	6.2	7.2	3.9	6.3	25.0	1.1
	25～29歳	3,395	2.8	8.6	18.1	17.6	15.6	17.6	7.1	4.3	7.2	1.0
	30～34歳	4,130	1.2	2.9	9.7	14.1	16.6	25.8	13.9	10.0	4.4	1.3
	35～39歳	4,231	1.2	2.3	6.8	11.0	17.2	25.0	16.4	14.3	4.5	1.3

(5) 家計の状態

問9 あなたの家庭の家計(状況)について、一番近いものの番号1つに○をつけてください。ここでの「家庭」とは、住民票上の世帯ではなく、実際に日常生活を共にしている人を指します。(○は1つ)

家計の状態は、全体でみると「黒字であり、定期的に貯金している」が 54.1%と最も高く、次いで「赤字でも黒字でもなく、ぎりぎりである」が 17.2%、「黒字であるが、貯金はしていない」が 10.1%、「わからない」が 6.7%となっています。

年齢層別でみると、「黒字であり、定期的に貯金している」はおおむね年齢層が上がるにつれて高くなり、30 歳代では6割台となっています。「赤字であり、貯金を切り崩している」及び「赤字であり、お金を借りている」は 20～24 歳でやや高くなっています。



(6) お金の不安や悩みのある費用

問10 お金の不安や悩みがある費用について、あてはまる答えの番号すべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

お金の不安や悩みがある費用は、全体でみると「居住費」が 61.9%と最も高く、次いで「食費」が 46.1%、「子どもの養育費」が 32.2%、「趣味・交際費」が 24.7%、「医療費」が 24.4%となっています。

世帯年収別でみると、「食費」は 500 万円未満で6割台と高く、おおむね年収が上がるにつれて低くなっています。一方、「子どもの養育費」はおおむね年収が上がるにつれて高くなり、1,500～2,000 万円未満で 54.3%と最も高くなっています。「趣味・交際費」と「医療費」は 1,000 万円未満で2割台から3割台とやや高くなっています。

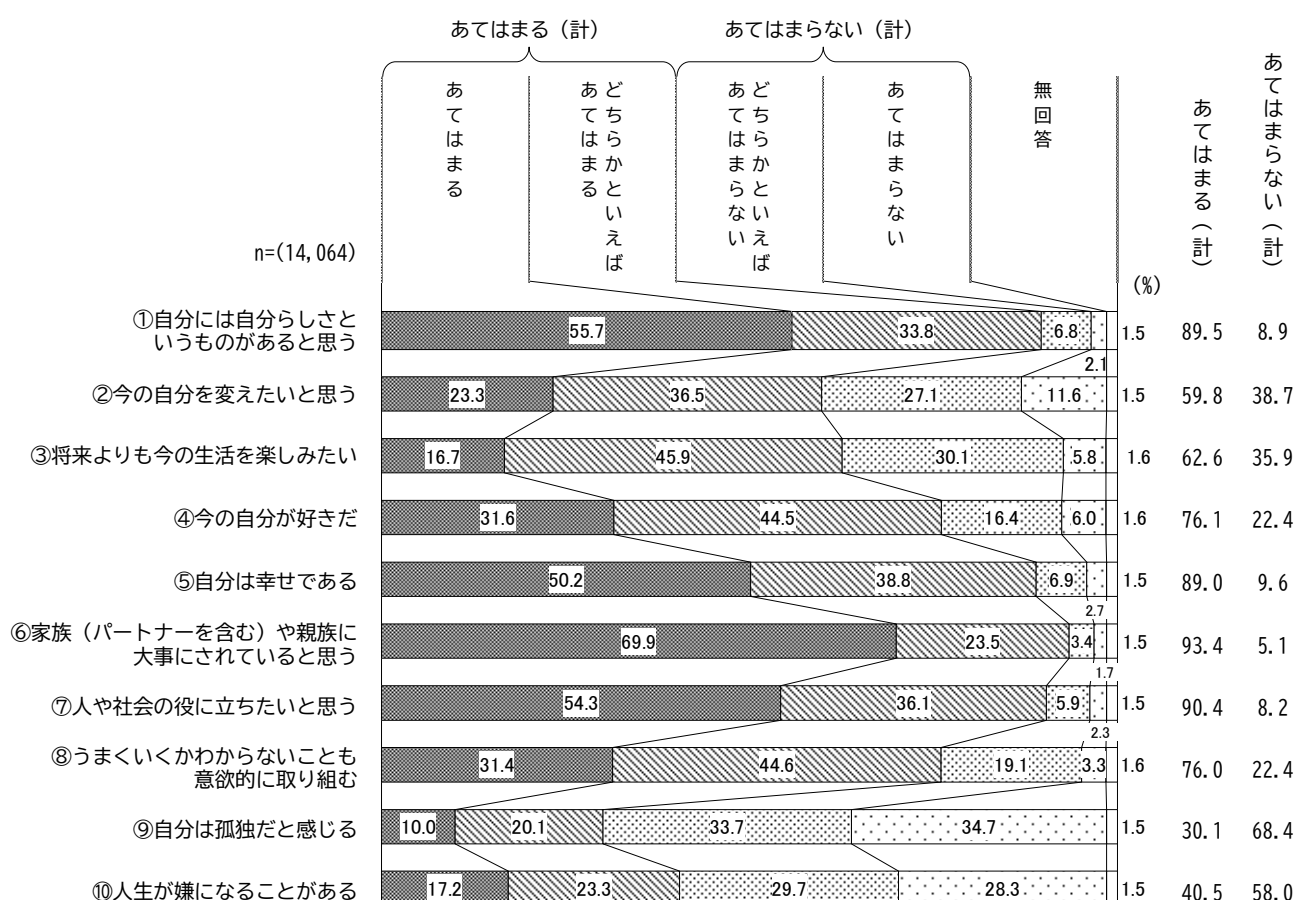
		回答数 (n)	居住費	食費	子どもの養育費	趣味・交際費	医療費	学費・奨学金返済	資格取得のための費用
単位：%									
全体		14,064	61.9	46.1	32.2	24.7	24.4	20.9	16.5
世帯年収別	100万円未満	585	65.3	64.4	4.8	33.7	27.5	38.1	23.6
	100～300万円未満	767	73.9	68.4	7.4	37.9	34.3	30.1	22.6
	300～500万円未満	1,571	70.1	61.6	11.3	39.1	34.8	19.2	24.8
	500～700万円未満	1,791	66.2	53.2	20.5	31.3	28.1	17.9	19.7
	700～1,000万円未満	2,079	66.3	48.8	35.7	24.9	23.6	20.4	16.9
	1,000～1,500万円未満	2,882	66.3	42.5	49.5	18.4	19.9	20.4	13.2
	1,500～2,000万円未満	1,602	61.0	32.3	54.3	13.0	17.5	19.3	10.8
	2,000万円以上	1,312	46.5	23.9	48.5	12.4	16.1	17.5	10.5
	わからない	1,207	41.4	42.9	14.7	29.3	29.1	23.4	16.6

		回答数 (n)	家族（パートナ）を含む経費	通信費	留学費	その他	特になし	無回答
単位：%								
全体		14,064	13.3	11.4	8.6	5.6	9.8	1.3
世帯年収別	100万円未満	585	5.1	20.9	25.8	2.9	5.8	0.3
	100～300万円未満	767	9.6	23.9	11.6	7.8	4.0	0.1
	300～500万円未満	1,571	10.6	19.6	5.2	7.1	5.8	0.5
	500～700万円未満	1,791	13.5	14.4	5.5	5.5	8.0	0.4
	700～1,000万円未満	2,079	15.2	11.2	6.1	6.3	8.7	0.2
	1,000～1,500万円未満	2,882	13.1	6.8	6.6	4.6	8.2	0.5
	1,500～2,000万円未満	1,602	14.3	4.3	8.6	3.9	10.7	0.5
	2,000万円以上	1,312	15.2	3.4	13.4	5.9	19.7	0.7
	わからない	1,207	17.5	14.2	11.9	6.1	18.8	1.2

(7) 自己肯定感等

問13 あなた自身について、次のことがどのくらいあてはまりますか。それぞれ、あてはまる答えの番号1つに○をつけてください。(○はそれぞれ1つ)

自己肯定感等は、「あてはまる（計）」では「家族（パートナーを含む）や親族に大事にされていると思う」が 93.4%と最も高く、僅差で「人や社会の役に立ちたいと思う」が 90.4%と、どちらも9割台となっています。一方、「あてはまらない（計）」では、「自分は孤独だと感じる」にあてはまらない人が 68.4%と最も高く、次いで「人生が嫌になることがある」にあてはまらない人が 58.0%となっており、いずれも肯定的な傾向がうかがえました。



2 普段の生活について

(1) 普段の過ごし方

問14 あなたは、学校や仕事以外の時間をどのように過ごしていますか。3つまで○をつけてください。(○は3つまで)

普段の過ごし方は、全体でみると「家族（パートナーを含む）と話をする」が 54.8%と最も高く、次いで「テレビやインターネット動画等映像コンテンツを視聴する」が 46.4%、「スマートフォンやパソコンで、インターネットやSNSを見る」が40.1%となっています。

年齢層別でみると、「家族（パートナーを含む）と話をする」は 30 歳代で6割台と高くなっています。「友だちや交際相手と話をする」は 24 歳以下で3割台と高く、25～29 歳でも約3割となっています。また、「子どもの世話をする」は 35～39 歳で 37.0%、「勉強をする」は 19 歳で 36.3%と高くなっています。

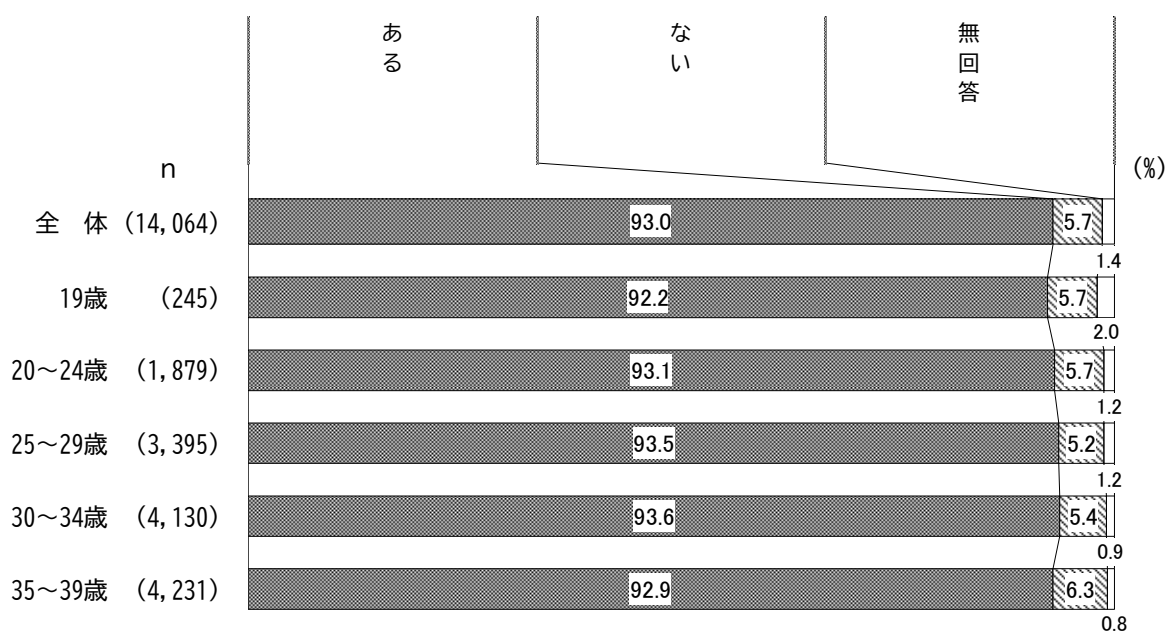
		回答数（n）	家族（パートナーを含む）と話をする	テレビやインターネット動画等映像コンテンツを視聴する	スマートフォンやパソコンで、インターネットやSNSを見る	友だちや交際相手と話をする	食事や買い物に出かける	子どもの世話をする	ゲームをする	友だちなどとメールやLINEなどで連絡を取り合う	勉強をする	本、雑誌、マンガなどを読む
単位：％												
全体			14,064	54.8	46.4	40.1	21.1	18.4	17.6	16.1	15.9	13.7
年齢層別	19歳	245	38.0	45.7	44.9	31.0	6.9	-	24.1	22.0	36.3	11.4
	20～24歳	1,879	34.9	48.2	43.1	35.6	14.5	0.2	22.1	22.7	23.8	11.5
	25～29歳	3,395	47.9	51.5	41.5	29.5	19.7	3.0	18.2	17.1	15.9	13.0
	30～34歳	4,130	61.4	47.6	39.6	17.4	18.7	19.0	15.3	15.4	13.0	14.0
	35～39歳	4,231	64.4	40.8	38.0	11.5	19.4	37.0	12.1	12.1	12.0	15.0

		回答数（n）	スポーツなどで体を動かす	ドライブ、サイクリング、散歩に出かける	スポーツ観戦、ライブなどのイベントに行く	映画館、ゲームセンター、カラオケに行く	社会参加活動（サークル活動・ボランティア活動など）をする	親の介護をする	親の代わりに家事や兄弟姉妹の世話をする	特に何もしないで、ひとりで過ごす	その他	無回答
単位：％												
全体		14,064	10.7	4.4	3.7	2.3	1.5	0.2	0.1	5.5	2.3	0.7
年齢層別	19歳	245	6.5	2.9	2.0	3.7	3.7	－	－	6.9	2.9	1.2
	20～24歳	1,879	8.6	4.9	4.3	3.0	3.5	0.1	0.3	7.9	2.0	0.7
	25～29歳	3,395	11.6	5.1	4.6	2.9	1.3	0.2	0.1	5.8	1.6	0.8
	30～34歳	4,130	11.1	4.3	3.7	2.0	1.0	0.2	0.1	4.9	2.3	0.5
	35～39歳	4,231	10.5	4.0	3.0	1.5	0.9	0.2	0.1	4.6	2.9	0.4

(2) 安心できる居場所の有無

問15 今のあなたにとって安心できる場所、居心地の良い場所がありますか。(○は1つ)

安心できる居場所の有無は、全体でみると「ある」が 93.0%、「ない」が 5.7%となっています。それぞれの年齢層の回答を比較しても、傾向に差異は見られません。



(3) 安心できる居場所

問15で、「1 ある」とお答えの方にうかがいます。

問15-1 今のあなたにとって安心できる場所、居心地の良い場所はどこですか。あてはまる答えの番号すべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

安心できる居場所は、全体でみると「自宅・自分の部屋」が 96.3%で最も高く、次いで「自宅以外の家（現在の自宅が実家でない場合は実家、友人宅、祖父母の家など）」が 26.9%、「カフェや喫茶店」が 19.6%、「職場（アルバイトを含む）」が 15.8%となっています。

年齢層別でみると、いずれの年齢層でも「自宅・自分の部屋」は9割台となっています。「自宅以外の家（現在の自宅が実家でない場合は実家、友人宅、祖父母の家など）」は 25～29 歳で 32.6%と最も高くなっています。

		回答数 (n)	自宅・自分の部屋	自宅以外の家（現在の自宅が実家でない場合は実家、友人宅、祖父母の家など）	カフェや喫茶店	職場（アルバイトを含む）	地域（公園、図書館、サークル・ボランティアの活動の場など）	居酒屋などお酒を提供するお店	インターネット空間（SNS、オンラインゲームなど）	学校（部活動を含む）
単位：%										
全体		13,075	96.3	26.9	19.6	15.8	6.7	6.7	6.4	5.4
年齢層別	19歳	226	95.6	21.7	11.5	10.6	7.1	0.4	11.9	32.3
	20～24歳	1,749	94.1	26.8	17.2	14.2	7.1	4.5	9.8	23.0
	25～29歳	3,175	96.3	32.6	20.3	14.5	5.5	6.5	7.0	4.6
	30～34歳	3,867	97.3	26.8	19.4	15.5	6.5	7.0	6.0	1.2
	35～39歳	3,932	96.5	22.9	21.0	18.3	7.5	8.0	4.5	0.6

		回答数 (n)	習い事（塾・教室）、スポーツクラブ	ゲームセンター、カラオケ、ファミスタ、フードなどのお店	相談窓口、サポートしてくれる場所（電話やオンラインを含む）	その他	無回答
単位：%							
全体		13,075	5.1	2.2	0.7	1.6	0.1
年齢層別	19歳	226	4.4	6.6	-	0.4	-
	20～24歳	1,749	3.0	3.3	1.1	1.8	0.2
	25～29歳	3,175	5.3	2.8	0.7	1.4	0.1
	30～34歳	3,867	5.2	2.0	0.6	1.4	0.0
	35～39歳	3,932	5.9	1.3	0.6	1.8	0.0

(4) 安心できる居場所に必要なこと

問16 安心できる場所、居心地の良い場所として、どのような場所があれば良いと思いますか。
あてはまる答えの番号すべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

安心できる居場所に必要なことは、全体でみると「静かに勉強や読書ができる場所」が 57.6%で最も高く、次いで「緑がある公園や広場」が 52.1%、「気軽に話ができる場所」が 48.7%、「文化や芸術（音楽、美術、料理など）に関する活動ができる場所」が 34.6%となっています。

年齢層別でみると、いずれの年齢層でも「静かに勉強や読書ができる場所」は5割以上となっています。「緑がある公園や広場」は30歳代で5割台半ば、「気軽に話ができる場所」は24歳以下で5割台と高くなっています。「ゲームやパソコンができる場所」は19歳で30.2%、20～24歳で23.6%と高くなっています。

		回答数（n）	静かに勉強や読書ができる場所	緑がある公園や広場	気軽に話ができる場所	文化や芸術（音楽、美術、料理など）に関する活動ができる場所	いろいろなスポーツができる体育館や運動場	ひとりでも安心して、家族（パートナーを含む）や友達には話せない悩みの相談ができる場所	ゲームやパソコンができる場所	子どもから高齢者までいろいろな年齢の人たちと触れ合える場所	その他	特にない	無回答
単位：％													
全体		14,064	57.6	52.1	48.7	34.6	25.2	18.0	17.6	10.0	3.1	3.6	1.6
年齢層別	19歳	245	60.0	41.6	54.7	28.6	26.9	18.8	30.2	8.2	4.1	3.3	2.9
	20～24歳	1,879	57.2	44.0	52.6	32.8	22.8	19.4	23.6	8.4	2.8	3.5	1.3
	25～29歳	3,395	56.5	48.2	49.3	35.5	23.4	17.6	17.1	7.9	2.3	3.3	1.4
	30～34歳	4,130	57.6	55.3	48.1	34.7	25.4	17.7	16.5	9.8	3.2	3.8	1.1
	35～39歳	4,231	58.9	56.8	47.4	35.0	27.7	18.2	15.7	13.1	3.9	3.7	1.2

(5) 外出頻度

問17 あなたは普段どのくらい外出しますか。(○は1つ)

外出頻度は、全体でみると「ほぼ毎日外出する（仕事・学校・遊び含めて）」が71.8%で最も高く、次いで「週に3～4日外出する（仕事・学校・遊び含めて）」が19.7%、「人づきあいや用事のために、週1日程度外出する」が4.2%となっています。

年齢層別でみると、いずれの年齢層でも「ほぼ毎日外出する（仕事・学校・遊び含めて）」が最も高く、19歳で76.3%、35～39歳で75.0%となっています。一方、「人づきあいや用事のために、週1日程度外出する」、「いつもは家にいるが、自分の趣味に関する用事のときだけ外出する」、「いつもは家にいるが、近所のコンビニなどには出かける」、「家からほとんど出ない」はいずれの年齢層でも1割未満となっています。

		回答数（n）	ほぼ毎日外出する（仕事・学校・遊び含めて）	週に3～4日外出する（仕事・学校・遊び含めて）	人づきあいや用事のために、週1日程度外出する	いつもは家にいるが、自 分の趣味に関する用事 のときだけ外出する	いつもは家にいるが、近 所のコンビニなどには出 かける	家からほとんど出ない	無回答
単位：％									
全体		14,064	71.8	19.7	4.2	1.5	1.1	0.5	1.3
年齢層別	19歳	245	76.3	17.6	2.0	0.8	0.4	0.8	2.0
	20～24歳	1,879	69.6	24.2	2.9	1.3	0.5	0.4	1.0
	25～29歳	3,395	70.9	20.4	4.6	1.7	0.7	0.3	1.3
	30～34歳	4,130	70.9	20.3	4.6	1.5	1.4	0.5	0.8
	35～39歳	4,231	75.0	16.9	4.0	1.4	1.4	0.5	0.8

(6) 外出状況が現在の状態になった期間

問17で、「4」～「6」※とお答えの方にうかがいます。

問17-1 あなたの外出状況が現在の状態となって、どのくらい経ちますか。(○は1つ)

※4…いつもは家にいるが、自分の趣味に関する用事のときだけ外出する

※5…いつもは家にいるが、近所のコンビニなどには出かける

※6…家からほとんど出ない

外出状況が現在の状態になった期間は、全体でみると「3年～5年未満」が26.5%と最も高く、次いで「1年～2年未満」が13.7%、「3か月未満」が12.8%、「2年～3年未満」が12.1%となっています。

年齢層別でみると、20～24歳は「6か月～1年未満」が最も多く、25歳以上では「3年～5年未満」が最も高くなっています。

		回答数 (n)	3 か 月 未 満	3 か 月 ～ 6 か 月 未 満	6 か 月 ～ 1 年 未 満	1 年 ～ 2 年 未 満	2 年 ～ 3 年 未 満	3 年 ～ 5 年 未 満	5 年 ～ 10 年 未 満	10 年 以 上	無 回 答
単位：%											
全体		430	12.8	7.9	10.0	13.7	12.1	26.5	10.0	6.0	0.9
年齢層別	19歳	5	20.0	20.0	-	20.0	-	-	40.0	-	-
	20～24歳	42	9.5	2.4	31.0	11.9	9.5	21.4	11.9	2.4	-
	25～29歳	94	11.7	8.5	6.4	16.0	13.8	27.7	10.6	4.3	1.1
	30～34歳	139	14.4	8.6	10.1	10.8	12.2	25.9	9.4	7.2	1.4
	35～39歳	141	12.1	8.5	7.1	16.3	11.3	29.8	7.1	7.8	-

※各年齢層別において、回答数(n)が30未満の項目は参考値とする。

(7) 現在の不安や悩みごと

問18 あなたは今、不安や悩みはありますか。あてはまる答えの番号すべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

現在の不安や悩みごとは、全体でみると「将来のこと」が 68.2%と最も高く、次いで「仕事のこと」が 52.3%、「家の経済状況」が 34.5%、「自分の健康や病気のこと」が 26.8%、「子どもの園・学校や将来のこと」が 23.9%となっています。

年齢層別でみると、「将来のこと」は 20 歳代で7割台半ばと高くなっています。「仕事のこと」は 25 歳以上で5割台と高くなっています。「家の経済状況」、「自分の健康や病気のこと」、「子どもの園・学校や将来のこと」、「家族（パートナーを含む）の健康や病気のこと」などは年齢層が上がるにつれて高くなり、「子どもの園・学校や将来のこと」は 35～39 歳で 41.9%と最も高くなっています。一方、「進学、就職のこと」は19歳で74.3%、20～24歳で49.5%、「勉強のこと」は 19 歳で 53.9%と高くなっています。

単位：%		回答数（n）	将来のこと	仕事のこと	家の経済状況	自分の健康や病気のこと	子どもの園・学校や将来のこと	家族（パートナーを含む）の健康や病気のこと	家族（パートナーを含む）との関係	好きなことをする時間が少ない	進学、就職のこと	勉強のこと	外見に関すること	日常的に食事や洗濯など家事をしなければならない
全体		14,064	68.2	52.3	34.5	26.8	23.9	20.3	16.4	15.8	13.9	12.5	11.6	10.0
年齢層別	19歳	245	68.2	23.7	20.0	18.4	1.2	7.3	11.8	11.0	74.3	53.9	18.4	2.4
	20～24歳	1,879	73.5	42.5	26.2	18.6	1.5	13.1	11.7	12.3	49.5	29.6	16.9	5.6
	25～29歳	3,395	74.3	55.9	34.1	24.5	10.3	16.4	14.2	12.9	12.6	12.1	11.8	7.7
	30～34歳	4,130	69.2	56.2	36.5	27.2	28.8	20.7	17.2	16.3	5.3	8.5	11.1	10.9
	35～39歳	4,231	60.7	52.5	37.7	32.4	41.9	27.2	19.9	19.7	4.1	6.9	9.2	13.4

単位：%		回答数（n）	交際相手との関係	友だちとの関係	先輩・後輩との関係	近所や地域の人との関係	自分の性別に関すること	インターネット上の人間関係	日常的に家族（パートナーを含む）の介護をしなければならない	日常的に兄弟姉妹の面倒を見なければならない	その他	特に不安や悩みはない	わからない	無回答
全体		14,064	9.0	6.4	2.8	2.6	1.1	1.0	0.8	0.3	3.3	4.4	0.3	1.6
年齢層別	19歳	245	6.1	16.3	4.5	3.7	3.3	0.8	0.4	0.8	2.4	2.9	—	1.6
	20～24歳	1,879	13.0	12.4	4.9	1.5	2.2	1.6	0.5	0.6	1.9	4.5	0.7	1.2
	25～29歳	3,395	13.9	6.8	3.2	1.4	1.0	1.2	0.6	0.1	2.6	4.6	0.5	1.6
	30～34歳	4,130	8.0	5.1	2.1	3.1	0.9	0.9	0.9	0.2	3.5	4.2	0.2	1.1
	35～39歳	4,231	4.5	3.9	2.0	3.4	0.7	0.8	1.0	0.2	4.4	4.5	0.2	1.3

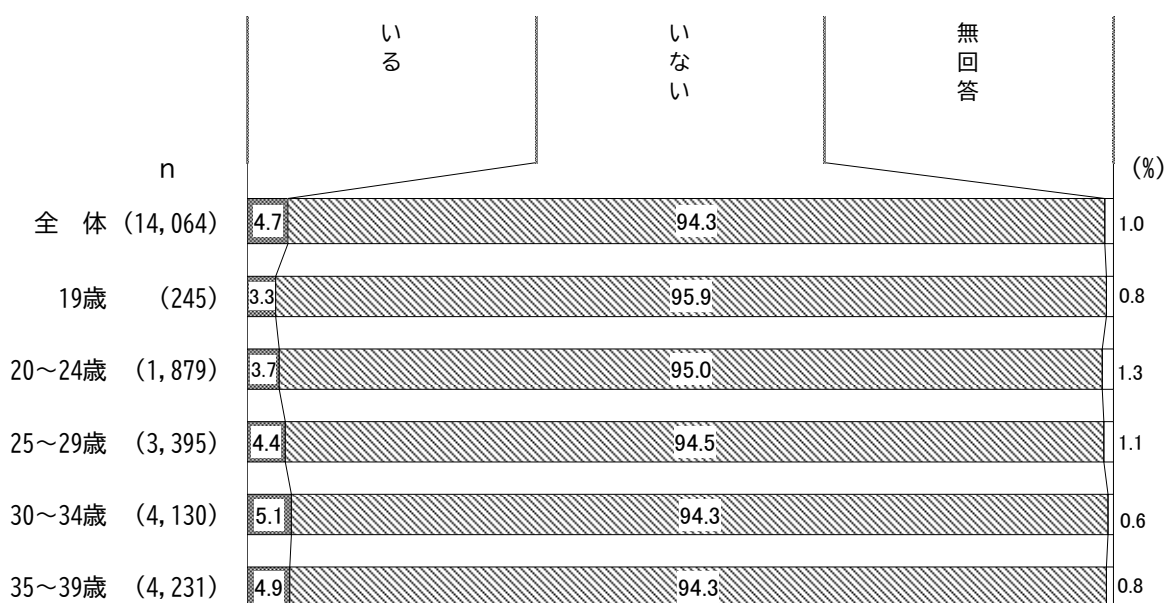
3 家族の世話について

(1) 日常的に世話をしている人の有無

問22 家族の中に、あなたが日常的に世話をしている人はいですか。(自分の子どもの育児や世話は除きます。)(○は1つ)

家族の中に日常的に世話をしている人の有無は、全体でみると「いない」が94.3%、「いる」は4.7%となっています。

年齢層別でみると、いずれの年齢層でも「いる」は1割未満となっており、「いない」が9割台半ばとなっています。



(2) 区に求める支援

問22で、「1 いる」とお答えの方にうかがいます。

問22-3 あなたが文京区に助けてほしいことや、必要としている支援はありますか。あてはまる答えの番号すべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

区に求める支援は、全体でみると「金銭的な援助をしてほしい」が 41.7%と最も高く、次いで「将来のことについて相談にのってほしい」が 21.4%、「自分と同じ環境の人と話したい」が 14.5%となっています。

年齢層別でみると、いずれの年齢層でも「金銭的な援助をしてほしい」は最も高く、25～29 歳で 50.3%となっています。また、「将来のことについて相談にのってほしい」も 25～29 歳で 28.9%と高くなっています。

		回答数（n）	金銭的な援助をしてほしい		将来のことについて相談にのつてほしい		自分と同じ環境の人と話をしたい		家族から離れて過ごせる場所がほしい		家族の世話を代わりにやつてくれるサービスを教えてほしい		自分の今の状況について話を聞いてほしい		家族の病気や障害、ケアについてわからないことを教えてほしい		家族のある人に話を聞いてほしい		その他		必要としている支援はない		無回答	
単位：％																								
全体		655	41.7	21.4	14.5	13.7	13.6	10.5	9.6	7.0	5.6	22.9	5.2											
年齢層別	19歳	8	25.0	25.0	—	12.5	12.5	—	12.5	—	12.5	37.5	—											
	20～24歳	69	40.6	20.3	11.6	17.4	5.8	5.8	5.8	7.2	2.9	23.2	4.3											
	25～29歳	149	50.3	28.9	12.1	12.1	7.4	12.1	8.7	8.1	2.0	22.8	3.4											
	30～34歳	211	41.7	20.4	16.1	14.2	17.5	12.8	10.4	6.2	7.1	20.9	5.7											
	35～39歳	208	37.0	15.9	14.9	13.9	17.3	9.1	11.1	7.2	7.2	25.0	6.7											

※各年齢層別において、回答数(n)が30未満の項目は参考値とする。

4 仕事について

(1) 就学・就業状況

問25 就学・就業状況についてお答えください。(○は1つ)

就学・就業状況は、全体でみると「正社員・正規職員」が 65.5%と最も高く、次いで「学生（予備校生などを含む）」が 13.9%となっています。

年齢層別でみると、「正社員・正規職員」は 25 歳以上で7割台と高くなっています。一方、「学生（予備校生などを含む）」は 19 歳で 95.1%、20～24 歳で 64.3%と高くなっています。

単位：%		回答数（n）	学生（予備校生などを 含む）	正社員・正規職員	契約社員など非正規職員	パート・アルバイト	自営業	自由業（個人で専門知識 や技術を生かした職業）	専業主婦・主夫	働いていない（育休中等 も含む）	その他	無回答
全体		14,064	13.9	65.5	3.9	3.3	2.3	2.3	3.0	4.3	0.7	1.0
年齢層別	19歳	245	95.1	—	—	2.4	0.4	—	—	0.8	0.4	0.8
	20～24歳	1,879	64.3	27.7	1.1	3.0	0.5	0.6	0.2	1.2	0.5	0.9
	25～29歳	3,395	10.0	74.1	4.2	2.6	1.3	1.8	1.0	3.4	0.6	1.0
	30～34歳	4,130	2.5	75.0	4.2	3.1	2.2	2.6	2.8	6.2	0.8	0.7
	35～39歳	4,231	1.0	70.6	4.7	4.2	4.2	3.2	6.2	4.6	0.7	0.6

(2) 働いていない理由

問25で、「7」「8」とお答えの方にかがいます。

問25-2 現在、働いていない理由についてお答えください。あてはまる答えの番号すべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

※7…専業主婦・主夫

※8…働いていない(育休中等も含む)

働いていない理由は、全体でみると「育児をするため」が68.9%と最も高く、次いで「家庭内での家事などを専業としているため」が16.6%、「病気、けが、障害があるため」と「心のケアが必要な状況であるため」がともに9.7%となっています。

年齢層別でみると、いずれの年齢層でも「育児をするため」は最も高く、35～39歳で79.2%となっています。また、「心のケアが必要な状況であるため」も25～29歳で21.5%とやや高くなっています。

単位：%		回答数(n)	育児をするため	家庭内での家事などを専業としているため	病気、けが、障害があるため	心のケアが必要な状況であるため	働く意欲がわかないため	どんな仕事につきたいかわからないため	知識・能力に自信がないため	就職活動中のため	経済的に余裕があるため	人間関係に不安があるため
全体		1,024	68.9	16.6	9.7	9.7	8.8	8.4	8.2	7.4	6.9	6.3
年齢層別	19歳	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	20～24歳	25	8.0	8.0	20.0	16.0	16.0	20.0	24.0	32.0	4.0	20.0
	25～29歳	149	40.3	9.4	18.8	21.5	15.4	13.4	12.8	14.1	5.4	12.1
	30～34歳	375	73.3	13.9	8.5	8.3	6.7	6.1	5.9	5.1	4.5	4.0
	35～39歳	457	79.2	21.4	6.8	7.0	8.1	8.1	7.9	5.5	9.6	5.7

単位：%		回答数(n)	労働条件・環境に関する不安があるため	やりたいことを目指して勉強中・修行中のため	資格試験などの準備のため	希望する職種に求人がないため	独立・開業に向けた準備のため	介護をするため	ボランティアや社会貢献活動に従事しているため	その他	特に理由はない	無回答
全体		1,024	5.5	4.7	3.7	1.7	1.4	1.0	0.3	5.8	0.0	2.6
年齢層別	19歳	2	-	-	50.0	-	-	-	-	-	-	50.0
	20～24歳	25	8.0	8.0	20.0	-	-	4.0	-	8.0	-	8.0
	25～29歳	149	6.0	6.7	8.1	2.0	3.4	1.3	-	3.4	-	2.7
	30～34歳	375	4.5	2.7	2.4	1.1	0.5	0.5	0.5	6.4	-	2.9
	35～39歳	457	5.7	5.5	2.2	2.2	1.5	1.1	0.2	5.9	-	1.8

※各年齢層別において、回答数(n)が30未満の項目は参考値とする。

(3) 仕事を選ぶ上で重視すること

問26 あなたが仕事を選ぶ上で重視することは何ですか。あてはまる答えの番号すべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

仕事を選ぶ上で重視することは、全体で見ると「職場の雰囲気や人間関係が良いこと」が72.8%と最も高く、次いで「仕事にやりがいを感じられること」が66.1%、「給料が高いこと」が63.1%となっています。

年齢層別で見ると、いずれの年齢層でも「職場の雰囲気や人間関係が良いこと」は7割台と最も高くなっています。また、「仕事にやりがいを感じられること」も19歳で73.1%と高くなっています。「福利厚生が充実していること」は19歳で58.4%と高く、年齢層が上がるにつれて低くなっています。「働き方（在宅勤務等）が選べること」は30歳代で4割台と高くなっています。

		回答数 (n)	職場の 雰囲気や 人間関係 が良いこと	仕事に やりがい を感じら れること	給料が 高いこと	休みを 取りやす いこと	専門的 な知識 や技能 が身につ くこと	実力を 適正に 評価して くれるこ と	残業や 休日出勤 が少ない こと	通勤の 便など、 地理的条 件が良い こと
単位：％										
全体		14,064	72.8	66.1	63.1	56.2	50.1	44.4	44.1	41.9
年齢層別	19歳	245	76.3	73.1	66.5	51.4	47.3	44.5	46.9	43.3
	20～24歳	1,879	72.6	66.5	65.0	50.4	49.5	40.3	43.7	41.4
	25～29歳	3,395	73.1	64.9	64.5	54.1	51.6	44.3	41.7	38.0
	30～34歳	4,130	73.2	65.3	64.5	58.3	50.8	45.0	44.8	41.7
	35～39歳	4,231	72.8	67.8	60.3	59.1	49.1	45.9	45.6	45.6

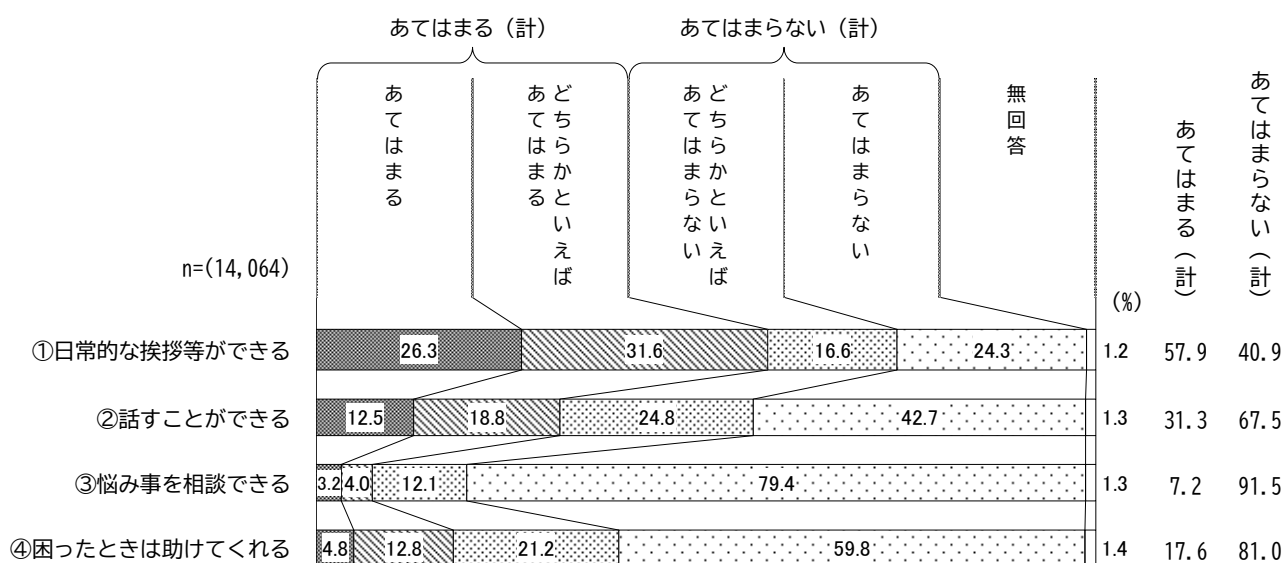
		回答数 (n)	福利厚生 が充実し ているこ と	働き方 (在宅勤 務等)が 選べるこ と	正社員・ 正規職員 で働くこ と	長い年 数働きた り続ける こと	その他	特にな い	無回答
単位：％									
全体		14,064	41.5	40.6	38.6	29.2	1.1	0.5	1.4
年齢層別	19歳	245	58.4	30.2	35.9	25.7	1.2	1.2	1.6
	20～24歳	1,879	48.2	29.3	35.7	24.7	0.9	0.4	1.6
	25～29歳	3,395	43.8	38.1	40.9	26.5	0.9	0.3	1.1
	30～34歳	4,130	40.4	42.9	38.5	29.6	1.1	0.3	1.1
	35～39歳	4,231	37.1	46.0	38.8	33.4	1.3	0.7	1.0

5 社会とのつながりや文京区に関することについて

(1) 地域の人との関わり状況

問28 地域の人(家族や親族以外の近所の人)と、あなたの現在の関わりは、どのようなものですか。それぞれ、あてはまる答えの番号1つに○をつけてください。(○はそれぞれ1つ)

地域の人との関わり状況は、「あてはまる(計)」では「日常的な挨拶等ができる」が57.9%と最も高く、次いで「話することができる」が31.3%となっています。一方、「あてはまらない(計)」では、「悩みごとを相談できる」と感じていない人が91.5%と最も高く、次いで「困ったときは助けてくれる」と感じていない人が81.0%となっており、いずれも否定的な傾向がうかがえました。



(2) 社会参加活動に不参加の理由

問29※で、「10 特に、社会参加活動はしていない」とお答えの方にかがいます。

問29-1 参加していない理由は何ですか。あてはまる答えの番号すべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

※問 29…あなたは、現在、次のような社会参加活動をしていますか。

社会参加活動に不参加の理由は、全体でみると「日々の生活が忙しく、時間的余裕がないから」が 55.9%と最も高く、次いで「地域でどのような活動が行われているのか知らないから」が 48.9%、「参加方法がわからないから」が 35.1%、「関心がないから」が 32.1%となっています。

年齢層別でみると、いずれの年齢層でも「日々の生活が忙しく、時間的余裕がないから」は5割台と最も高くなっています。また、「地域でどのような活動が行われているのか知らないから」も 25～29歳で 52.0%と高くなっています。「一緒に参加する知人・友人がいないから」は 19歳で 38.2%と高く、年齢層が上がるにつれて低くなっています。

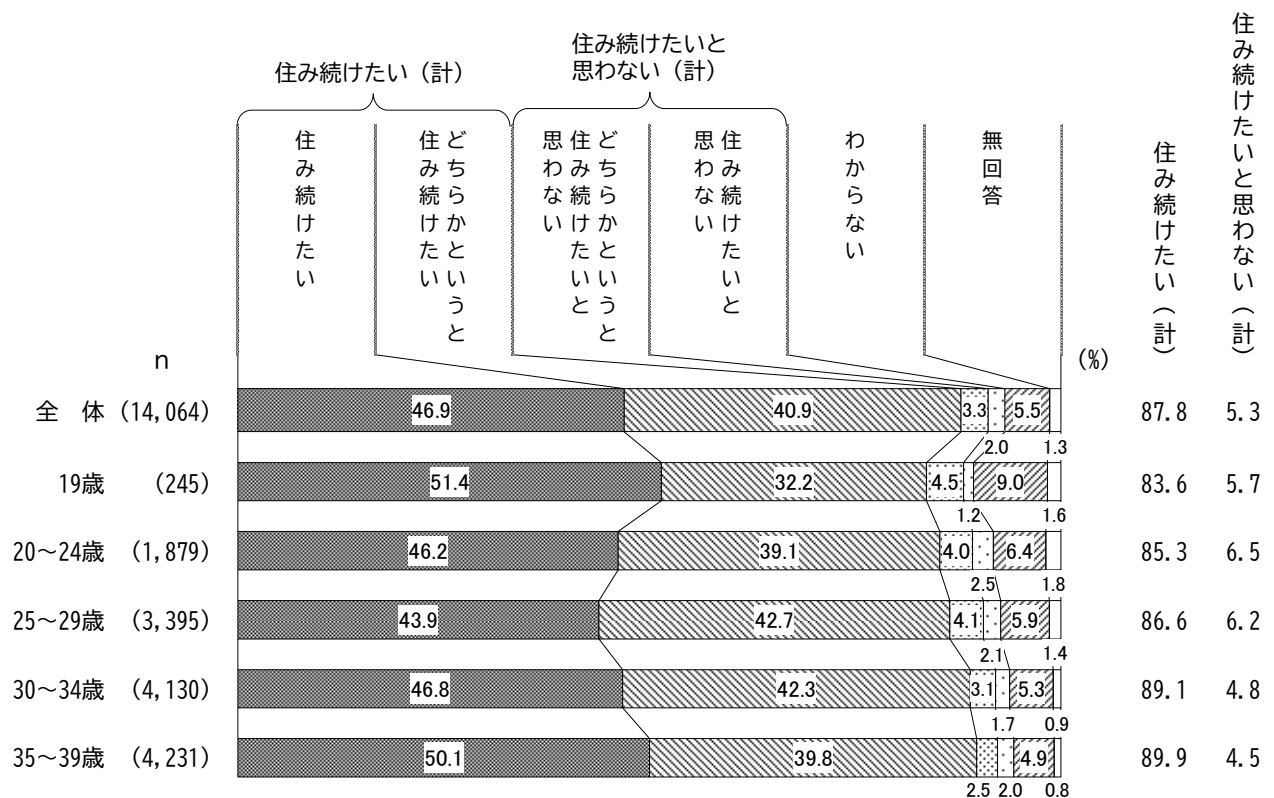
		回答数（n）	日々の生活が忙しく、 時間的余裕がないから	地域でのような活動が行 われているのかわからないから	参加方法がわからないから	関心がないから	一緒に参加する知人・友人 がいないから	活動の時間や日程が合わない から	必要性を感じないから	人付き合いや人間関係が苦 手だから	経済的余裕がないから	地域の活動が盛んではない から	その他	無回答
単位：％														
全体		9,570	55.9	48.9	35.1	32.1	27.6	23.6	21.5	21.1	10.5	5.9	2.6	0.3
年齢層別	19歳	157	54.8	40.8	22.9	31.2	38.2	28.0	17.2	19.7	6.4	6.4	4.5	0.6
	20～24歳	1,311	55.3	49.7	33.5	36.6	34.5	23.3	18.5	18.9	10.8	8.4	2.1	0.2
	25～29歳	2,646	54.4	52.0	36.9	33.3	28.5	22.0	21.9	18.3	13.2	6.3	2.3	0.3
	30～34歳	2,951	55.0	49.5	35.0	32.6	26.0	23.0	23.1	22.2	9.9	5.2	2.7	0.4
	35～39歳	2,394	59.5	45.2	35.2	27.7	24.1	25.9	20.9	23.8	8.2	5.0	3.0	0.3

(3) 永住希望の有無

問31 これからも文京区に住み続けたいと思いますか。(○は1つ)

永住希望の有無は、全体でみると「住み続けたい（計）」が 87.8%、「住み続けたいと思わない（計）」が 5.3%となっています。

年齢層別でみると、いずれの年齢層でも「住み続けたい（計）」は8割台、「住み続けたいと思わない（計）」は1割未満となっています。また、「住み続けたい」は19歳と35～39歳で5割台と高くなっています。



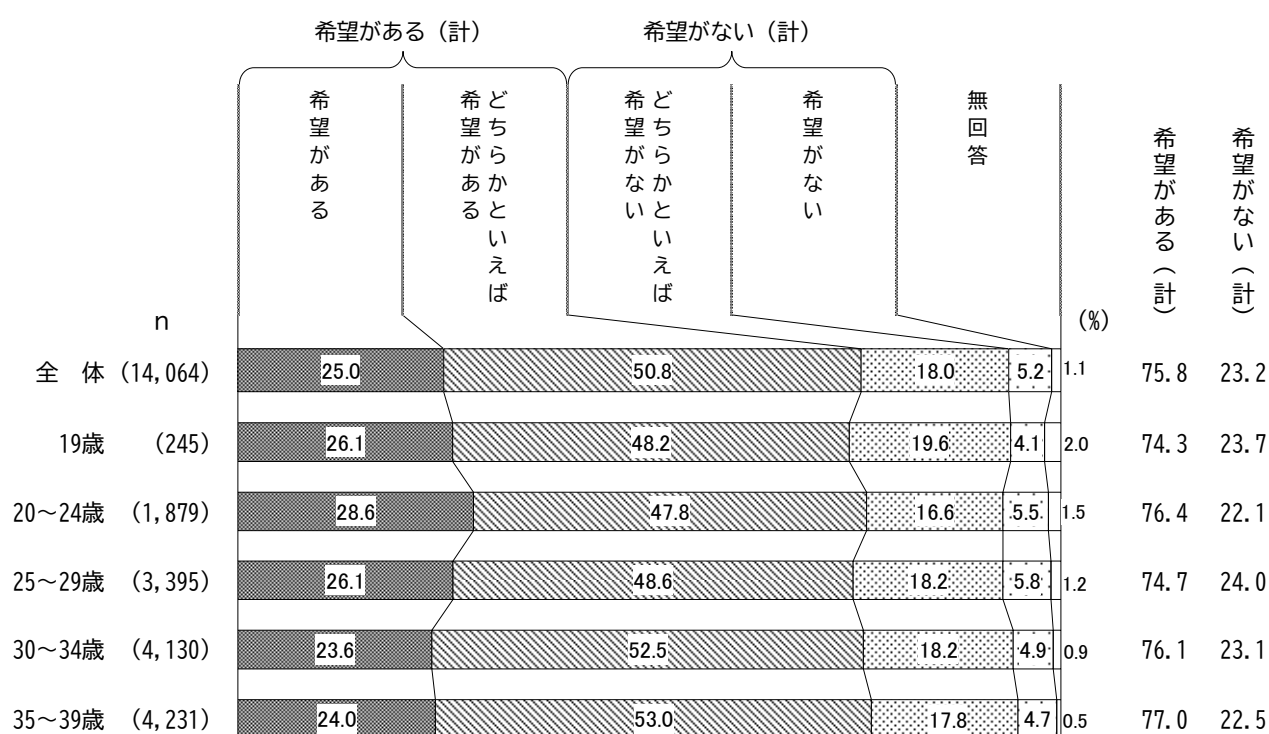
6 将来への希望感について

(1) 将来への希望感

問36 自分の将来について明るい希望を持っていますか。(○は1つ)

将来への希望感は、全体でみると「希望がある（計）」が75.8%、「希望がない（計）」が23.2%となっています。

年齢層別でみると、いずれの年齢層でも「希望がある（計）」は7割台、「希望がない（計）」は2割台となっています。また、「希望がある」は20～24歳で約3割、「どちらかといえば希望がある」は30歳代で5割台と高くなっています。



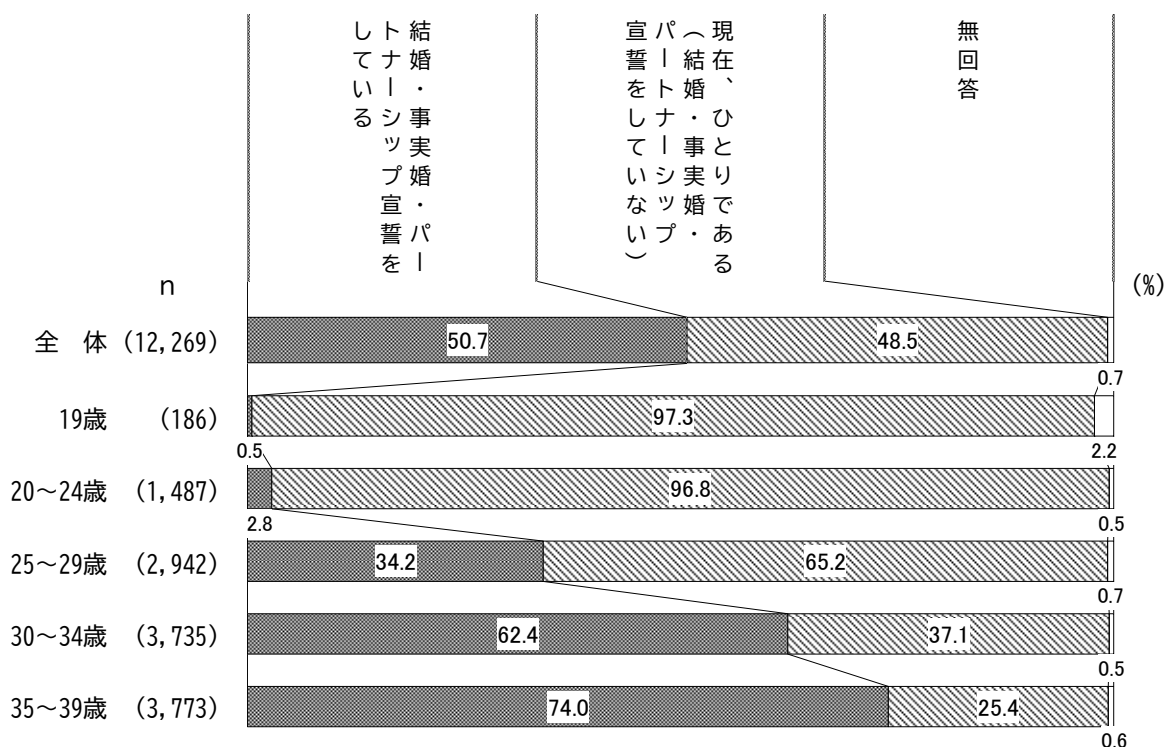
7 結婚・子育て・少子化対策について

(1) 婚姻状況（事実婚等含む）

問39 現在のあなたの状況をお答えください。(○は1つ)

婚姻状況（事実婚等含む）は、全体でみると「結婚・事実婚・パートナーシップ宣誓をしている」が 50.7%、「現在、ひとりである（結婚・事実婚・パートナーシップ宣誓をしていない）」が 48.5%となっています。

年齢層別でみると、「結婚・事実婚・パートナーシップ宣誓をしている」は年齢層が上がるにつれて高くなり、35～39歳で74.0%となっています。一方、「現在、ひとりである（結婚・事実婚・パートナーシップ宣誓をしていない）」は24歳以下で9割台となっています。



(2) 国や自治体に求める支援

問39で、「2 現在、ひとりである（結婚・事実婚・パートナーシップ宣誓をしていない）」とお答えの方にうかがいます。

問39-3 国や自治体に期待する結婚支援、パートナーシップに関する支援はどんなことですか。あてはまる答えの番号すべてに○をつけてください。（○はいくつでも）

国や自治体に求める支援は、全体でみると「住まいや暮らしへの経済的支援」が 50.3%と最も高く、次いで「雇用や収入の安定化を目指した施策」が 37.5%、「出会いの場や機会を創出するための支援」が 22.2%となっています。また、「特にない」は 28.3%となっています。

年齢層別でみると、「住まいや暮らしへの経済的支援」は20歳代で5割台と高くなっています。また、「雇用や収入の安定化を目指した施策」も 20～24歳で 41.7%と高くなっています。

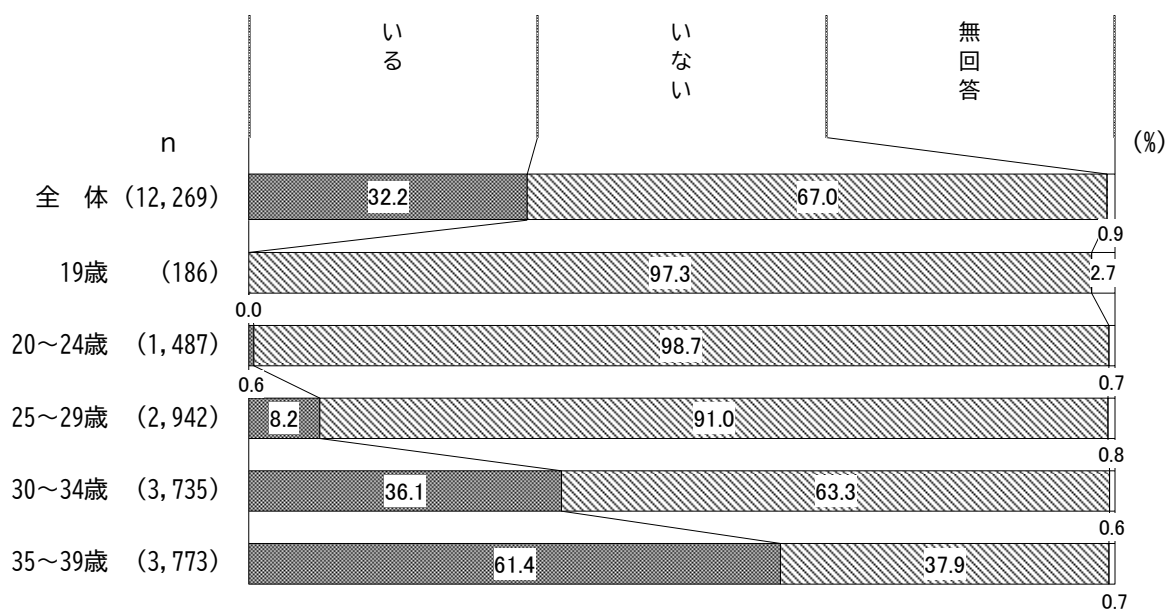
		回答数（n）	住まいや暮らしへの経済的支援	雇用や収入の安定化を目指した施策	出会いの場や機会を創出するための支援	結婚やパートナーシップに関する情報の提供	出会いに関するサービス利用の支援（マッチングアプリ登録費用の補助など）	公的相談所や公的相談会の開設	その他	特にない	無回答
単位：％											
全体		5,956	50.3	37.5	22.2	15.6	13.4	7.1	2.6	28.3	2.7
年齢層別	19歳	181	45.9	39.2	18.8	13.8	6.6	4.4	2.8	33.1	2.8
	20～24歳	1,439	52.3	41.7	18.3	12.7	9.6	5.5	1.5	28.1	2.8
	25～29歳	1,917	56.3	38.8	21.0	16.0	12.4	5.9	2.1	25.2	2.3
	30～34歳	1,385	46.4	32.7	24.5	17.2	16.8	8.4	3.3	30.0	2.3
	35～39歳	957	42.7	35.0	27.8	17.0	17.5	10.4	3.8	30.9	3.1

(3) 子どもの有無

問40 あなたは、子どもがいますか。現在妊娠中のお子さんや、里親や養子縁組として育てているお子さんも含めてお答えください。(○は1つ)

子どもの有無は、全体でみると「いない」が67.0%、「いる」が32.2%となっています。

年齢層別でみると、「いる」は年齢層が上がるにつれて高くなり、35～39歳で61.4%となっています。一方、「いない」は24歳以下でほぼ全数を占めています。



(4) 子どもの人数

問40で、「1 いる」とお答えの方にうかがいます。
問40-1 子どもは何人いますか。

子どもの人数は、全体でみると「1人」が58.4%と最も高く、次いで「2人」が35.0%、「3人」が5.3%となっています。

年齢層別でみると、「2人」は年齢層が上がるにつれて高くなり、35～39歳で43.2%となっています。

		回答数 (n)	1人	2人	3人	4人以上	無回答
単位：%							
全体		3,947	58.4	35.0	5.3	0.7	0.6
年齢層別	19歳	0	-	-	-	-	-
	20～24歳	9	88.9	11.1	0.0	0.0	0.0
	25～29歳	242	88.4	8.7	1.7	0.0	1.2
	30～34歳	1,348	71.1	25.7	2.6	0.1	0.4
	35～39歳	2,315	48.0	43.2	7.4	1.0	0.4

※各年齢層別において、回答数(n)が30未満の項目は参考値とする。

(5) 理想の子どもの人数

問41 あなたは、子どもを何人育ててみたいですか。子どもを望んでいない、考えていない場合は「0」を記入してください。

理想の子どもの人数は、全体でみると「2人」が46.7%と最も高く、次いで「0人」が18.9%、「3人」が16.5%、「1人」が13.1%となっています。

年齢層別でみると、いずれの年齢層でも「2人」が最も高く、25～29歳で50.1%となっています。一方、「0人」は19歳で31.7%と高く、年齢層が上がるにつれて低くなっています。

		回答数 (n)	0人	1人	2人	3人	4人以上	無回答
単位：%								
全体		12,269	18.9	13.1	46.7	16.5	2.0	2.9
年齢層別	19歳	186	31.7	9.1	41.4	13.4	1.1	3.2
	20～24歳	1,487	25.6	10.6	45.1	14.1	1.5	3.1
	25～29歳	2,942	19.7	12.8	50.1	13.3	1.4	2.8
	30～34歳	3,735	17.3	13.4	48.5	16.6	2.0	2.3
	35～39歳	3,773	16.4	14.5	43.6	20.1	2.7	2.8

(6) 理想の数の子どもを育てるために必要なこと

問41で、「1人以上」とお答えの方にうかがいます。

問42 育ててみたい数の子どもを育てるには、どのようなことがあれば良いと思いますか。あてはまる答えの番号すべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

理想の数の子どもを育てるために必要なことは、全体でみると「子どもと子育てに関する経済的支援施策がある」と「幼稚園・保育園・認定こども園などへの入園の見通しが立っている」が約7割と最も高く、次いで「希望どおり産休や育休が取得できる」、「妊娠・出産・子育てまで一貫した支援がなされている」、「自分や家族の勤務先の長時間勤務の削減など、働き方が見直される」、「住宅費用の補助など住環境への支援がある」が6割台半ばと高くなっています。

年齢層別でみると、「子どもと子育てに関する経済的支援施策がある」は25～29歳と30～34歳で7割台と高くなっています。また、「幼稚園・保育園・認定こども園などへの入園の見通しが立っている」は30～34歳で71.3%、「妊娠・出産・子育てまで一貫した支援がなされている」は25～29歳で70.5%となっています。「希望どおり産休や育休が取得できる」は24歳以下で7割台、「自分や家族の勤務先の長時間勤務の削減など、働き方が見直される」も19歳で71.9%と高くなっています。

		回答数（n）	子どもと子育てに関する経済的支援施策がある	幼稚園・保育園・認定こども園などへの入園の見通しが立っている	希望どおり産休や育休が取得できる	妊娠・出産・子育てまで一貫した支援がなされている	自分や家族の勤務先の長時間勤務の削減など、働き方が見直される	住居費用の補助など住環境への支援がある	理由を問わず子どもを預けられるサポーター体制（病児保育や一時預かりなど）が整備されている	家族の協力・理解が得られる	勤務先に育児短時間勤務制度がある	妊娠・子連れで外出しやすい施設やサービスが地域に整っている	部署でキヤリアップが可能 な環境がある	子どもがいても同じ勤務先、親や家族からの支援が得られる	自分や家族の転勤への配慮がなされる
単位：％															
全体		9,596	69.7	69.5	66.7	66.2	65.4	64.6	56.6	54.0	50.4	46.7	44.9	43.7	40.9
年齢層別	19歳	121	59.5	64.5	75.2	66.9	71.9	48.8	48.8	55.4	44.6	37.2	52.1	52.1	42.1
	20～24歳	1,061	66.8	67.4	72.5	64.6	63.8	59.1	47.4	55.2	50.5	39.9	50.7	48.5	45.1
	25～29歳	2,281	70.6	69.0	69.8	70.5	63.7	68.6	52.9	51.7	52.6	44.9	47.4	43.5	42.7
	30～34歳	3,002	71.5	71.3	68.6	68.8	67.2	66.6	59.4	51.9	51.9	49.9	44.3	42.5	41.1
	35～39歳	3,050	68.7	69.0	60.1	61.0	65.2	62.1	60.3	57.3	47.4	47.5	41.0	43.0	37.9

単位：％		回答数（n）	子どもがいても同じ勤務先、環境で継続して就業できる環境がある	産後ケア・産後うつへの支援が取組がなされている	不妊治療に対する助成が充実している	子どものことで勤務先へ復職できる環境がある	子育ての細かいニーズに対応した多様なサービス（NPO、企業）から育児サービスが得られる	身近に仕事と子育てを両立している手本となる人がいる	友達や近所の人からの支援が得られる	養子縁組制度の理解が進み、充実している	里親制度の理解が進み、充実している	その他	特にない	わからない	無回答
全体		9,596	40.9	39.4	38.0	37.4	24.5	22.4	17.5	8.2	8.0	2.5	0.4	0.5	0.2
年齢層別	19歳	121	49.6	38.0	24.8	44.6	25.6	29.8	26.4	12.4	13.2	4.1	0.8	0.8	0.8
	20～24歳	1,061	48.5	39.8	31.5	41.8	24.1	26.0	21.0	10.7	10.6	1.3	0.3	1.0	0.5
	25～29歳	2,281	42.6	43.5	39.8	38.7	24.1	23.7	16.8	8.9	8.7	2.2	0.3	0.4	0.2
	30～34歳	3,002	40.1	39.2	41.0	35.7	24.4	22.1	16.1	6.9	7.0	2.2	0.3	0.1	0.1
	35～39歳	3,050	37.2	36.5	36.5	36.1	24.7	19.9	17.7	7.8	7.5	3.5	0.8	0.6	0.2

文京区若者の生活と意識に関する調査報告書

－ 概要版 －

令和7年4月

発行：文京区

編集：子ども家庭部子育て支援課子育て支援推進担当

〒112-8555 東京都文京区春日1-16-21

電話 03-3812-7111（代表）
